第1学年 技術・家庭科(家庭分野)

1 月標

技術家庭科の目標

生活の営みや技術の見方・考え方を働かせ、生活や技術に関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造する資質、能力を育てる。

<家庭分野>

衣食住などに関する実践的・体験的な学習活動を通して、生活の自立に必要な基礎的・基本的 な知識及び技術を習得するとともに、家庭の機能について理解を深め、これからの生活を展望 して、課題をもって生活をよりよくしようとする能力や態度を育てる。

2 学習内容

• 主な学習課題

1 学

期

○ガイダンス

- ・3年間の学習について
- わたしの成長と家族や家庭生活

B: 食事に役割と食習慣

中学英に必要な栄養を満たす食事

- 中学生の発達と必要な栄養
- 1日分の献立





2 学

B:さまざまな食品とその選択

- ・生鮮食品、加工食品について
- 食品の安全と情報

期

B:日常食の調理

- ・調理の計画(肉、魚、野菜を使った調理)
- ・ 地域の食文化
- 日本各地の郷土料理





3学

B: 布を用いた物の製作をしよう!

生活に活用するものを製作しよう。

期

C: 賢い消費者になろう

・購入・支払方法や金銭の管理について学ぼう





3 評価の観点と学習の方法

「家庭や家族」の様々なできごとについて…

①課題をもち、授業や家庭学習を通して自ら学ぼう。

【関心・意欲・態度】

②よりよい生活の実現に向けて、生活を豊かにする手立てを考えよう。

【工夫・創造】

③正しい用具の使い方などを身に付け、実習に取り組み、家庭でも実践しよう。【技能】

【知識•理解】

④基礎的・基本的な知識を身に付け、生活(技術)への理解を深めよう。

4 評価の方法

○定期テスト ○宿題(課題レポート) ○ワークシート、ノート ○発言(授業態度) ○ 技能(調理実習等) *これらを参考にして観点別に評価し、評価結果を総合して評定を決めます。

第2学年 技術・家庭科(家庭分野)

1 月標

技術家庭科の目標

生活の営みや技術の見方・考え方を働かせ、生活や技術に関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造する資質、能力を育てる。

<家庭分野>

衣食住などに関する実践的・体験的な学習活動を通して、生活の自立に必要な基礎的・基本的 な知識及び技術を習得するとともに、家庭の機能について理解を深め、これからの生活を展望 して、課題をもって生活をよりよくしようとする能力や態度を育てる。

2 学習内容

・ 主な学習課題

1 学 B: 布を用いた物の製作をしよう

手縫いやミシン縫い、衣服の補修ができるようにしよう。

・生活の課題と実践①

期

B: 布を用いた物の製作をしよう

手縫いやミシン縫い、衣服の補修ができるようにしよう。

学 期

2

B: 自立した食生活をめざして

- 肉・魚・野菜を使った調理をしよう。
- ・ 食生活と環境のかかわりを考えよう。
- ・生活の課題と実践②



3 学

期

C:賢い消費者になろう

- ・物資・サービスの選択について知ろう
- 契約と消費生活のトラブルについて知ろう
- ・消費者の権利と責任について考えよう
- 自立した消費者についてを考えよう!



3 評価の観点と学習の方法

「家庭や家族」の様々なできごとについて…

①課題をもち、授業や家庭学習を通して自ら学ぼう。

【関心・意欲・態度】

②よりよい生活の実現に向けて、生活を豊かにする手立てを考えよう。

【工夫・創造】

③正しい用具の使い方などを身に付け、実習に取り組み、家庭でも実践しよう。【技能】

。【打义用比】

④基礎的・基本的な知識を身に付け、生活(技術)への理解を深めよう。

【知識•理解】

4 評価の方法

○定期テスト ○宿題(課題レポート) ○ワークシート、ノート ○発言(授業態度) ○作品など *これらを参考にして観点別に評価し、評価結果を総合して評定を決めます。

第3学年 技術・家庭科(家庭分野)

日標

技術家庭科の目標

生活の営みや技術の見方・考え方を働かせ、生活や技術に関する実践的・体験的な活動を通し て、よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造する資質、能力を

<家庭分野>

衣食住などに関する実践的・体験的な学習活動を通して、生活の自立に必要な基礎的・基本的 な知識及び技術を習得するとともに、家庭の機能について理解を深め、これからの生活を展望 して、課題をもって生活をよりよくしようとする能力や態度を育てる。

2 学習内容

・ 主な学習課題

A:家族・家庭と子どもの成長

学 期

1

○幼児の世界を知ろう!

- わたしの成長を振り返ろう
- ・ 幼児の生活について知ろう
- 家族のかかわりを考えよう



2 学

期

○「赤ちゃん・幼児触れ合い体験」

- 幼児との関わり方を工夫しよう
- ふれあい活動
- ふれあい活動を振り返って





3 学

期

〇これからのわたしと家族

- ・家庭や家族や地域との関わり
- ・3年間の学習のまとめ





3 評価の観点と学習の方法

「家庭や家族」の様々なできごとについて…

- ①課題をもち、授業や家庭学習を通して自ら学ぼう。
- ②よりよい生活の実現に向けて、生活を豊かにする手立てを考えよう。

③正しい用具の使い方などを身に付け、実習に取り組み、家庭でも実践しよう。【技能】

④基礎的・基本的な知識を身に付け、生活(技術)への理解を深めよう。

【関心・意欲・態度】

【工夫・創造】

【知識•理解】

4 評価の方法

〇定期テスト 〇宿題(課題レポート) 〇ワークシート 〇発言(授業態度) など *これらを参考にして観点別に評価し、評価結果を総合して評定を決めます。